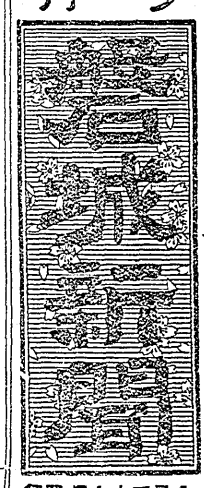
夕刊



八月二十七日發行

定價一ヶ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料金（紙面二段抜）五號活字一行一回金九拾錢（紙面二段抜）五號活字一行一回金六拾錢
發行所　磐城新聞社
福島縣磐城郡平町字本町六番地
電話平五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

鮮○滿○支の旅から

……上海にて……

磐女教諭　山口彌一郎

（五）

○

餘りにもスケールの大きな國際的都市の處の樣な高樓、ネオンサインのまばたきの間、排日の根强さのみが目について、日本の將來に一抹の不安な影を投げてゐる樣な氣がしてならない。

○

滿洲には奔命に疲れてゐる陸軍の守備隊あり、上海には廢墟の跡を見守る少數の海軍陸戰隊が同胞の前線を掌つてゐるのであらうが生活程度の低いこの無數のと言ひ度い。夜は夜と熱苦しく家の中に居たまれず道路の兩側にゴロ〳〵してゐるこの支那人を相手に我々は一体何を仕樣としてゐるのか。

國際聯盟に東洋の認識不足をせめる先に、我々同胞が果して鮮、滿、支の眞相を解して居るか否か、朝鮮併合後既に何年を經て居るであらうか、そして尙ほ內地よりの補助金を目當てにせず朝鮮の眞の經營開拓が何程進歩してゐるか、滿洲に働く同胞の大滿鐵に職をもつ、又その職をもつ人方を相手に貪つてゐる以外の眞に滿洲の土地に立つ人々で幾割あるか、幾分あるか。

滿洲に居る日本人は植民地的氣分で金を貯めては內地に歸る氣をもつ者が多くて困ると言ふが實際その多くが大滿洲の單な社員である以上、それを考へずに暮せるだらうか。然しそれとも生活程度の低い、勞働力の强い支那人と赤裸で競爭開拓し得る同胞渡滿者が果して幾人あるだらうか。滿洲、滿洲と餘りにも感傷的に或は誇大的に取扱ふ前に撫順の大露天堀の石炭を何故全能力を擧げて堀り得ないかの眞相を突きつめる必要はないだらうか。

旅から旅へ、目新しい間にも一人旅のわびしさに、或は炭鑛にとまり、農村にもぐり、知己と語らうすべもなく單に見つめる斷片にどれ程の眞相を掴み得るかは知れないが、日本の勢力の及ぶ北ハルビンより南上海迄の第一線を見渡す時相當の不安さを味ひないでは居れない、突きつめ得ない底深く、まだまだ掴み得ない眞相が根强く冷たく横たはる樣にも思はれて來る。

（昭和七年八月十五日夜上海文路紅星旅館にて）

海のうた

新妻　久滿夫

（一）

○この海に死にけむ人か　松中の卒塔婆の古りは年經ちにけり

○松の間ゆ海の靑さの見のひさし　無緣ぼとけの道なかの塔

○能ふかぎりのび高まれる浪の秀のくづおれむとす　ひた押しに來て

○ひた押しに浪のせまればおほらなる秀のくづおれて散りにけるかも

○阿武隈の嶺ゆ一ところ走りきて鹽谷み崎の海に入るかも

景色

小濱　牧泉

梅雨のしづくは
軒端にひびく
とぎれ〳〵に
重たげに

海は潮騷
白浪みえる

港日暮の
灯がともる
出船か入船
漁泊火か
かげも浪間に
ぬれてゐる

病んで三日の
しょんぼりと
窓に出る身に
風が吹く。

『水車』（童謠）

磯上　六花

あしの若葉がゆれゆれて
ゴットンカタリ水車
村のはづれの水車場で
ひとり淋しく米をつく
ゴットンカタリ米をつく

つりがね草

みどりの丘のつりがね草
おぼろ月夜に咲きました
草葉分け分けこぼるきが
鐘を鳴らしに參ります
がんがんがんと鳴らします

詩南車解剖

郡司一郎

（2）

『詩南車』同人の作品の低下したのは、一にその人格低下である。その二には識見狹き故である。今日『詩南車』の歌壇よりも、地方新聞歌壇の方が、量に於て質に於ては遙かに越えてゐる。この事實が分らぬやうではあつばれ同人たちもゼロである。しかし恐らくは自らを恃むに强き彼等には分るまい。實に、うぬぼれ强き人間には、大成は期せない。又他を見るの明なきものは同じく大成は期し難いものである。

×

『詩南車』が一体、磐城文壇に何を貢獻したのか。それよりも中央文壇へ、詩人なり歌人なりを一人でも出してゐるか。雜誌を年に三回や四回出したり、偶々主催の歌會をやつた位が何だ。それより彼等が一團となつて、劃時代的な業蹟を殘さぬか。お互に讃め合ふやうな、お座なりの批評をして何になるか。退歩して仕終ふ許りじやないか。それこそ〳〵詩人歌人位、風上に置けぬ者はない。

×

高久晩霞先生あたりが『紺南車』の選をするのが間違つてゐる。あの程度の雜誌は、もつと若々しい選者が要るのだ。むしろ一人三首以內位としてアンデバン式に、自由に頁を割くのがよいのだ。

文藝雜誌などが、ちと廣告を拾ひ歩くのも面白くなさいます、深更に及び安眠いい。編輯同人と名のつく程の妨げいたして何とも恐れ入りますが賞は御配下に容ベルリンから十一日目に餘人が其方に對し刄傷に及の人間は、多少とも自分の廣島着△ジョンソン孃大財布をはたいて出資し、お易ならぬ一大事差起り此のんだとか』

講談　お蘭陀お蝶

（118）

渡邊默禪作
布施長春畫

江戸から新任の同僚堀伊賀守が着阪したので、其の歡迎や打合せやらで其の日は東横堀本町橋內の西町奉行所へ出向き夜になつて歸邸するや否や疲れ切つた体を床に投げての寢入端大事出來との取次に何事かと怪？

『奉行殿、叛逆を企てる亂臣がござる』

『エッ！叛逆？アノ謀反か？』

『左樣でござる』

『何者ぢや、そりや何者ぢや？』

眼の色を變へて前へ乘り出す

『まづ持つて是の手疵の由來を申上げまする、斬られたものは平山に相違ござらぬが斬つた奴は何人か御存じはござりますまい』

『勿論ぢや』

『其の本人は大鹽格之助其の他門弟二十餘人』

『何と大鹽平八郎の倅、格之助を初めとして門弟二十餘人が其方に對し刄傷に及んだとか』

『左樣にござりまする』

『と、格之助が叛逆を企てたと申す譯じやな』

『いや先づお聞きなされ一細を內訴申したく此の重傷同白刀を拔いて只一人の拙者を中に押取込め、なますになれと斬つてかゝる、なれども此方は武術にかけて人に敗れを取つたことのない鐵石心の兵でござる、已れ猪口才なとばかり身を替はして右に當り左に薙ぎ四角八角と暴れ廻つて』

『コレ〳〵、手前の功名談は無用にせい、へたな講釋を聞く樣で一向感心しない一体其の叛逆の張本人と云ふのは誰ぢや』

『餘人でもございませぬ格之助の親父平八郎』

『えつ！平八郎が？うむ……』

跡部は愕然としてそり反り

平山は大鹽の計劃を詳しく語つて自分が其の連判狀に加判すべく迫られたのを斷然拒絕した爲め徒黨の憎みを受け今夜外出の途中不意に狙擊されたのを辛くも斬り拔けて來たものゝ如く話した、後の祟りが怖いので成る可く都合の良い樣にと駈け引く。

拈華微笑

◇混凝土の護岸を行く清玲の愛谷江。平町新風景近く出現か

◇東北六縣醫者さんオンパレード　新舞子、新田町打診はご勝手

◇急、窮、救農工事協議の濱三郡町村長會

◇空の色、風の聲手掛け引き無しの秋となる

◇明日曜晴れか。風清涼、氣爽か散策に佳矣

○……○

阪出發奉天に向け歸還飛行△對英クレヂット米佛で設定△英國勞働黨主選擧ヘンダスン氏當選（昭和六）

印刷代を稼ぐやうなことでどうして一人前になれるか高久晩霞先生などが、出資をしたりするのは結局考い人たちを墮落させることである。文藝雜誌は決して新聞のやうに公器でない。自分たちの藝術作品を發表する機關に過ぎない。それを後援する人たちも餘りに親切過ぎる。そんな金があつたら、小新聞でも援けて地方文化發達を期するに如くはない。

×

斯ふ書いたら『詩南車』の賢明なる諸同人は、藝術至上を唱へて憤慨するであらう。しかし、今どき藝術至上論などを唱へるのは、セーラーズボンと恐らく緣遠い話である

平生一方ならぬ御恩顧に預りまする拙者奴上への御奉公は此の時と心得まして委細を內訴申したく此の重傷同白刀を拔いて只一人の拙者を中に押取込め、なますになれと斬つてかゝる、なれども此方は武術にかけて人に敗れを取つたことのない鐵石心の兵でござる、已れ猪口才なとばかり身を替はして右に當り左に薙ぎ四角八角と暴れ廻つて』

『コレ〳〵、手前の功名談は無用にせい、へたな講釋を聞く樣で一向感心しない一体其の叛逆の張本人と云ふのは誰ぢや』

『餘人でもございませぬ格之助の親父平八郎』

『えつ！平八郎が？うむ……』

跡部は愕然としてそり反り

ラヂオ

……二十八日〔日曜〕……

仙臺　JOHK

△前九、〇〇A　氣象
△九、一〇A　榮養料理（冬瓜の味噌汁…主料理　麦豆…副料理）榮養研究所
△九、三〇A　子供の時間　室內樂　アルメリア四重奏團
△一〇、〇〇A　宗教講話（宗教の眞隨）　建長寺派管長大僧正菅原時保
△一〇、四〇B　講演（悪虫病及類似疾患の研究）大阪帝大教授醫學博士谷口腆二
△一一、一〇A　謠曲講座（謠の道しるべ）實演……觀世左近　解說…池內信嘉
△正午A　時報　氣象
△後〇、三〇A　ニュース
△〇、五〇　三、四〇A　新人紹介の午後（一、長唄二、常磐津　三、尺八四、五、義太夫　六、新內　七、八、義太夫
△二、三〇　四、二〇　運動競技（全日本中等學校及一般實業團体固定席艇選手權決勝競漕大會）
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇　ニュース
△六、〇〇B　子供の時間　童謠　宮下晴子　禮子
△六、三〇　趣味講演（文學に現はれたる東北地方のローカル、カラー）佐々木俊郎
△七、〇〇A　ニュース　氣象　生繭相場
△七、三〇B　歌舞伎の夕（高瀨舟）中村魁車一座
△八、三〇A（女團七三筋の達引）
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象　生繭

セダン揃ひで！
貸切專門の！
昭和タクシー
三四三番

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九二タクシーヘ
（デンワ、ミクニ）

別府溫泉デ名高イ岩里家ノ家傳秘藥
烈シキ痛ミ、血ウミ、コシケ止ル事妙ナリ
爆彈的百パーセントの効果
黑箱—金參圓　赤箱—金五圓
無効返金藥（二日內服効無キ時ハ殘藥引替ニ即時返金ス）
百藥盡キテ最後ニ服ム可シ
責任即効秘やく
岩里
別府藥丸

別府皮膚藥
別府溫泉特有湯ノ華製劑ニテ皮膚病最高の權威藥
效目的確の高貴やく
金弐圓　金參圓　金五圓
發賣製藥元　別府市鶴外園　岩里天然堂
代理店　渡邊いと

內科　外科　產婦科　病科　一般
自炊の便あり
入院隨意
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院

金　地　金
貴金屬製品
特別高價買入
金光堂時計店
平・五　電一九五

內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
醫學士　高久忠清
新潟醫學士　赤羽菊雄
藥劑士　佐竹
平町田町（電話五一三番）
高久病院

債權取立
◎債權ノ取立及讓受ケ致シマス。
◎財產ノ整理引受ケマス。
◎紛議ノ仲裁
◎會社ノ設立及會社整理精算ニ關スル相談
商業興信所代理部（平町字田町五三）
◎着手金イリマセン
◎取立料ハ取立高ノ一割乃至三割申受ケ
◎依賴ハ住所氏名金額等御記入ノ依賴書ヲ御送リ下サイ

季節御料理
柳川　一人前　金二十五錢ヨリ
うな丼　金三十五錢
蒲燒　金五十錢
金五十錢ヨリ
右大々勉强出前迅速
大鳥壽料理
蒲燒司
折詰
仕出し部
田町　魚榮
電話四二四番

難波醫院
內科
一般
醫學博士　難波睦
平町大町新川端（電話五〇二番）

胃腸病の藥の一座を占むる純漢法藥
松前家傳　靈効散　無効返金
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致ました。今迄のは福島市で製藥したので兎角の批評ありましたが今度のものは眞正のもので奏効確なものです服用しなくては其の眞價が判りませんから皆樣へ見本を差上ます。御遠慮なくいらして下さい！見本品でも二日間飲まれますから輕い病氣なら治つてしまひます。小兒用の靈効散も出來ました。胃腸病に苦しむ方、腦病、心臟病、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。
定價……試用分八日分壹圓　五十錢　輕症用廿五日分　貳圓　重症用廿五日分　貳圓
靈効散賣販部　平町古鍛冶町（縣社の下）　地方代理店　阿康藥舗（電話四四番）

工費七八萬を投じて 愛谷堰第二期工事計劃

九品寺前から堤の内迄護岸して

平町新風景現出

襄に第一期事業として實に工町裏を經五丁目立町境より二十六萬五千圓の巨費を投じ前後五ヶ年を費して好間に入る區間のコンクリート川サイホン式護岸架樋及赤護岸工事を設計中であるが井村愛谷地先の取入口改修右は工費七八萬圓を要するを完成し平町外四ヶ村六百見込で其筋の補助關係が順五十餘町歩の灌漑を永久に調に進展する時は恐らく年確保した愛谷江筋組合では内に着工し得る迄に機運が最近更に第二期工事として平町九品寺より仲間町、大

奥羽六縣醫師會健保部長協議

けふマルトモホールで開催

縣醫師會主催第四回奥羽六縣醫師會健康保險部長協議會は今二十七日午前九時から平町マルトモホールに開催、日本醫師會長北島多一博士外六縣の各部長出席本縣保險部長大原一博士議長となり次回開催地を仙臺市と決定、協議に入り山形を除く各縣醫師會提出の協議案十七件を可決し終つて一行は郡醫師會の案内で自動車にて新舞子、沼之内辨天より平着、午後七時から住吉屋本店で懇親會を催した

一粒選りの精鋭が各入神の技を競ふ

あす在軍の武道大會

郡聯合在郷軍人分會主催の第五回武術大會は明二十八日午前八時から平商校庭で開催されるが軍刀術、銃劍術試合申込者左記の如く今年初めて提供された優勝カップを繞つて龍虎相搏つ盛觀を期待されて居る、尚三等迄の勝者は射擊選手と共に三十日から二日間若松市で開かれる縣大會に出場資格を獲得する晴の鑑選だけに選手は非常に意氣込んで居る

△軍刀術　（飯野）高杉清壽　鈴木國光（鹿島）鵜沼俊德　鯨岡善孝（上下小川組合）草野誠（渡邊）澤田正幸、根本操（平町）片寄牛三郎　齊藤義藏（夏井）木田芳重　船尾作右衛門（草野）古市慶助、青木善一郎（大野）根本明智、草野一（四倉）長谷川義雄、金成仙治、（古河）加藤幸一、矢内朝雄（大浦）根本要一、大谷吉直（内郷）大越久五郎、大越美身（神谷）片寄實、林德寶（泉）吉田淺次郎、山部（窩久）藥谷久太郎、山部勇（四倉）新妻唯一郎、國玉儀十郎（平窪）野木秀文（入遠野）根本鬼一、野崎稲吉（高久）箱崎甚一、志賀秀雄、（渡邊）粒來義夫若松長次（平町）鈴木友光　半場一吉（内郷）野澤正雄　菅野作次郎、

△銃創　（上下小川組合）草野一夫、鈴木一賀（大野）吉田榮一郎、會田等（鹿島）鯉淵春雄、大瀧忠雄（飯野）小野伴五郎、鹽榮（泉）田邊秋男（神谷）水野久一、鈴木德次郎（永戸）箕輪組合）藥谷久光、吉田薫（大浦）大樂忠利、鈴木正美（豊間）大峯清太郎　勝明

救農事業に關する濱三郡町村長會

來月八日平町で開催

濱三郡町村長會は來月八日午前九時から平第三小學校に開催、赤木知事を初め土肥土木課長外數名が臨席今二十七日蓋明けの臨時縣會に於て決定の匡救事業實施に關する指示、打合等が行はれる

平營林署關係　救濟案

臨時議會へ提出

平營林署から臨時議會へ提出する農漁村救濟案は左記四萬九千六百圓であると

砂防二萬一千圓（川前、上小川、永戸、大野）海岸保安林一萬八千八百圓（四倉、大浦、草野、豊間）林道千五百圓、官行造林五千圓、臨時造林三千三百圓

惡水豫防工事促進

伏見町長ら出福

伏見平、伊藤飯野兩町村長は豫て其筋に陳情中なる平署裏から尼子橋に至る延長四百間の新川惡水豫防改修工事に關し臨時縣會中に於ける促進運動のため今二十七日午前五時四十二分で

公會堂の工事に失業勞働者採用

町役場の方針決定

平町役場では最近救濟方の陳情あつた失業者二百餘名に優先權を與へ近く着工に家族合せて千數百名の處置にも第一に使用する外土木に就て少からず頭を痛めて監督所に依頼して極力開拓あたが結局最の上水道擴張に努めてゐる工事當時同樣總べての就業

鈴木明美（上遠野）竹原清　遠藤茂雄（山田）吉田直枝　尚縣大會への射擊選手は飯蛭田榮佐久（古河）森木米野村江尻茂、古河好間安齊次、三瓶健次（好間）古市百七の兩名に決定した磨、齊藤次男（赤井）小川

滿洲行

藤田中尉

第一五十九信

再び長春に（續）

◇軍事講演があるから

長春附近の戰鬪に就いて

◇私は田中中　佐であります。是れから長春附近の子の停車場だと土地の誘導者は指示した、長春の城内も日本商業學校も手に取る樣に見える、日本領事館に

は高く日章旗が飜々としてあつたが異域に拜する日章旗はいつも乍ら異つた強きジオツクを受くるものだ。

屋上に軍事講演を聽く——

歩四の田中中佐はかく講演された

長春附近の戰鬪に就いて

ます。是れから長春附近の戰鬪開始前後に於ける一般情況に就いて申上ます。又南嶺、寛城子の直接戰鬪の情況に就ては後刻主任將校

現在皆さんの居らるる此の

をして現地に於て說明せしむることに致します。

第一長春附近一般の地形に就いて

◇長春は皆さん御承知ます、而して向ふに遠く見ゆる松並木の樣なバラバラ

の通り松花江の支流である伊通河の左岸にある都會にして海拔約二百米であつての左端の方に當り濃厚なる丁度内地の甲府附近の高さ森林があります、あれは有に相當して居ります。此の名なる南嶺の支那兵營のあ地より以北及東西は所謂北る所であります、其の支那兵營から此の給水タンク即及蒙古の平野であつて比高十乃至三十米の起伏を有ち日本の附屬地迄は丁度五する波狀地であります。又千八百米突あります、そこ

日本の兵營は長春の西端に位置して居ります。彼の方は

◇東北の方は　南であります、而して向ふに遠く見

した白揚樹が見えます、其他若干波狀地がありますが概して御覽の通りの平坦地帶に山地であります。次は北の方に就いて申上ます。向ふに大なる森林が見えます、あれは有名なる寛城子であります。森林の直ぐ前に大きな建物が三個あります。

◇長春城内と　の中間地區は商埠地であります、又領事館より此の方面は全部日本の附屬地であります。

此の長春の東側には伊通河が流れて居ります、其の東方約三里附近より東方は一帶に山地であります。次は北の方に就いて申上ます。

展を遂ぐ▲三碧の人　發運甚大にして萬事ま折を生じ易し守勝吉▲四綠の人　諸事停滯して成功容易ならず終に失敗あり▲五黃の人　事理を究めて着實に計畫する事は必ず成功▲六白の人　時運を察せず大望を起すはてん落の本となる▲七赤の人　意を決して初志のくわん徹に努むれば終に成る▲八白の人　意實に事を謀り溫順に人と交れば吉兆あり▲九紫の人　努力も空しく衰勢に厭迫せられ失敗す

。。。。。放火事件公判　情痴の放火犯人内郷村高坂梅原和子（一七）假名——は來月十日双葉郡熊野町大字石澤青戸初衛（三九）は來月六日各々平支部で公判を開廷すると

其の頃伏兵の桑畑が今は新田町の歡樂境

平城下元文年間百姓一揆物語

▽△▽△▽△▽△▽

◇…元文三年の事である近在の百姓達を愕然たらしめた。

◇…泣く子と地頭には勝てぬとは云ふものの、諸組役金と名を付け、百石につき金一兩三分宛七ヶ年の間割付差出す事——なる御布令は、年に一度の御正月と吉直（内郷）大越久五郎、大越美身（神谷）片寄實、林德寶（泉）吉田淺次郎、山部（窩久）藥谷久太郎、山部春を皷腹擊攘して居つた平の

金は一番納期の八月迄にはあつて乏しい乍ら木つばの到底調達が出來なかつた。やうな餅食つて、あぶらのやうな酒飲んで天下泰平の百姓達は蒼くなつた。その時である何處の村から出た

近在の百姓達を愕然たらし

◇…泣く子と地頭には勝

◇…元文三年の事である

△△△△△△△△

九月十七日辰の上刻、十五歳以上六十歳以下の男子殘らず平表へ相詰め、御領分取立二つ五分に御引き下され殊に口米御免種籾元利年賦此度の夫役金まで勿論御免下され候樣惣百姓一同御願ひ出で申すべし。若し出會無き平窪向ふにも四五千人等、村有之候はゞ其の村へ火

◇…裁判を用いずして死刑を行ふ。と云ふG・P・Uを想はするやうな凄い急狀に頓え上つたのかそれとも計劃に共鳴したのか、十八日の晝頃になると百姓は思ひ〳〵の道具を持つて鎌田川の向ふには其勢五六千人白土八幡近所には四五千人谷川瀨口に五六千人、長橋向ふに三四千人、好間口に相續く者何千人、それから

焼き拂ふべし。

〃廻つて來た。物は必至の勢であ

オルガナイザは嚴しい詮議を受けて一々罪科に問はれ

遊子の心を傷ましむる物寂しい秋は竟に來た

◇一兩日來の雨急に殘炎を洗ふ

書き入れの二十三夜樣を台處、この空模樣が霽れ上る無しにした一夜來の驟雨に緩いて、昨朝來の曇りから竟に夜に入つて降り出した雨は先頃來續いたま夏逆轉の殘炎を一氣に洗ひ去つて久方振りの涼しさを味はせられた。比較的雨不足だつた年柄丈けに農作物にとつて

と未だ二寸の間、日中は暑いこともあらうが之れ迄のやうなことはなく日一日初の約束で去月十六日磐崎村は豫て其筋に陳情中なる平署裏から尼子橋に至る延長四百間の新川惡水豫防改修工事に關し臨時縣會中に於ける促進運動のため今二十

秋刀魚漁近づく

江名町で着々準備を進む

江名町秋刀魚漁の灘引は十月一日から一齊に出漁する事に決定目下漁具漁船の修理其他の準備を進めて居る

仕立業高橋正雄（三六）は四日小名濱町旅館兼料理店新米永山ジュン方で十圓の無錢飲食をなし母に說諭されて二十五日支拂ひに來たのを平署員に檢擧され取調べの結果事情が判つて放還された

勘定に東京から

改悟した只飲み男

東京府下荏原郡碑衾村料理

風呂を造るからと地方を騙り歩く

平署で檢擧取調べ中

當時住所不定東白河郡宮本村生れ長州風呂製造業水野九日上遠野村某から風呂の製造を請け負つたと稱し平大字藤原高木寅八から前後三回に亘り三十圓、同高木久藏から一回に十三圓を騙取して平署に捕へられ目下嚴重取調べを受けてゐるが尚ほ餘罪あるらしいと

町陶器商白土屋事關内敬次郎からタイル六十圓を詐取したるを手始めに風呂製造の約束で去月十六日磐崎村

鮭漁準備

鮭の漁期に

鮫川附近の漁師達は今年も漸く優勝旗爭奪戰が行はれるが目下の優勝旗保持者は湯本支部である

手工品評會

昨二十六日から平第一校で開催中の郡教育部會主催教員手工講習は明二十八日を以て終了するが出席二百名餘りで第一日は粘土の花瓶、あひる、第二日—木工、本立、衣紋掛、第三日は紙細工で終了後作品品評會を開催すると

貧故の盜み

平町鎌田町古物商吉田勝雄（三五）は

自轉車鑑札更新　二十四五兩日江名町で行つた

六七月中十一件四十九圓餘

優勝旗射撃競奪會

來月町で

あす勿來町弓道會支部設置記念弓術大會は明二十八日同町弓場に於いて開催各支部百餘名の射手により八日同町弓場に於いて開催

庭球平法曹對セメント

平法曹團對四倉磐陽倶樂部の庭球試合は明二十八日午前十時から四倉セメントコートに於て行ふが法曹からは次の組が出場する

（小野田　星　大内　松野尾　西内）

（村上　加藤　安齊　佐藤　古川　小谷）

（矢吹　山　小野　薄　鈴木　葉　加藤）

全小川郷對小野新町　明二十八日午前十時から小川郷コートに開催する

喘ぐ江名町

徐に更生を策す

では自力更正の一端てもまさに千金の雨と云ふ風の聲、轉た遊子の心を傷

長者議員投票所第三に決定

來月十日の多額納稅議員互前八時から午後三時まで第三小學校で行はれる事に決した

賞勝旗

長者議員投票所

秋刀魚漁近づく

江名町で着々準備を進む

江名町秋刀魚漁の灘引は十月一日から一齊に出漁する事に決定目下漁具漁船の修理其他の準備を進めて居る

勘定に東京から

改悟した只飲み男

東京府下荏原郡碑衾村料理

遊子の心を傷ましむる物寂しい秋は竟に來た

◇一兩日來の雨急に殘炎を洗ふ

夜間診療

内科　十二指腸虫病　專門

外科　淋病　皮膚病　梅毒　專門

内科　胃腸　性病　專門

松村醫科醫院

（平南町電話一〇七番）

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、平町南町　專門（元眞木辯護士跡）

增田耳鼻咽喉科醫院

電話　四八二番

（入院隨意）

安價で効果的な　天然加里肥

最も適應する作物!!!

蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類

ナス類ではトマト、ナスの如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます。

天然加里肥は酸性でないから

如何に施用しても土壤を惡變する恐は絶對にありません。

一俵三十錢（大量取引は特に割引致します）

平町鎌田

製造販賣　金成國雅

石炭の大特賣

◉塊炭　正味十貫目　一俵　金貳拾錢也

▲『品ガ良ク』『値ガ安ク』『目方ハ正確』デス。

▲トニカク一度使ツテ見テ下サイ。

◉配達ハ一俵ヨリ致シマス。

御注文ハ——電話三七番

㋟阿部石炭商店

平停車場前

用意周到に企圖する所あらば大發